

解雇は頻々と発生し、賃金は低下し、物價は高く、所得せる労働条件も、至る
度改良されんとしつゝ、ある。

而かも、此労働者の生活は、最低限に引下げて有した身定も、その根柢は頗
る不安定極まるものである。従つて彼等支配階級は、現在の安定状態を、出来
得る限り承継せしめんとして、愈々吾等に労働階級を弾圧する。

又その緑玉政策は決して単純なるものでなく、嘗つて農民労働者禁止命令の如
き露骨のものには、労働組合の幹部を弾圧し、或は労働組合を禁止せしめ、無産階級の先
を指して資本主義階級の逆宣傳を爲して労働組合を禁止せしめ、無産階級の先
合的勢力の増進を極力阻害する如き巧妙な手段をも用ひ、更に労働法制の名
に依つて、労働者の因縁を完全に資本家に懸病せしめんとするが如き方法をも
採用してある。

然し乍ら、斯くの如き、凡ゆる方法に依る支配階級の露骨政策、逆宣傳あり
と謂ふ、労働大衆は兎も甚く悲慘なり是れを爲めに、労働組合の必要を知り
労働者日常生活の保護の武器としての労働組合に對する理解は益々増し、今や、何
れも労働団体も量的に漸次拡大しつゝ、ある。

以上の如き状況の下に於ける吾等労働階級の幹部を思ふに、今労働者數四百萬
人に比して、組織されたものは、僅か二十餘萬、即ち全体の五分四厘に過ぎ
ず、而も此僅かに依る吾等組織労働者も、組織の聯合に依り
分断し、未だ全体的聯合せしめざる等々の第一的原因を有してゐる。

斯くて今や支配階級の反動的露骨に對抗する爲めに拡大する未組織大衆を
組織し新興する爲にも、全労働組合を統一しなければならぬ必要に迫られつゝ
ある。

此労働組合の統一に對し、現時労働組合を一部の幹部は、極力反對して常に
分散對立の策はしむ傾向を助成せんとしつゝ、あるも、一方多くの団体は、労働
組合の統一の必要を痛感し、一部の反對妨害あるに拘はらず、大衆の眞の要求
に立脚して實際の形勢は統一に向つて進みつゝ、ある。

吾等労働組合も過去一ヶ年間の運動

前述の如き、複雑多岐の形勢の基に、本評議會は、創立以來今日迄急に幾
多の困難に遭遇し不遑分米つた。

即ち、(一)官憲、資本家も、則る前に於て本評議會加盟組合を、固執破壊せし
めんとする、陰謀に對する闘ひ、(二)全労働組合運動の軌線にある一部の労働
組合幹部も本評議會に對し、可共黨一瓜五分を中斷し、吾等も、階級的